

平成14年6月19日

テクノスーパーライナー実用化のための新会社設立について

かねてより TSL 実用船の就航を目指して、国土交通省はじめ関係者間で調整が進められて参りましたが、このほど小笠原航路への TSL 導入を前提とした TSL 運航事業が実現の段階となったのを機に、海運、造船、物流、商社各社、および日本政策投資銀行は、TSL の保有・貸与を行う「株式会社テクノ・シーウェイズ」を平成14年6月18日に設立いたしました。

(株)テクノ・シーウェイズの保有する TSL 第一船は、東京 - 小笠原航路に平成17年春に投入される予定です。これにより、本土から小笠原へのアクセスが大幅に改善され(片道26時間 約16時間)、島民の利便性の向上や小笠原の活性化に大いに寄与することが期待されます。

新会社は TSL を始めとする高速輸送体系の構築や海上物流技術の高度化など、ニュービジネスの開拓に力点を置いた事業展開を行っていく計画で、小笠原航路 TSL の保有・貸与事業の開始と平行して、国内基幹航路およびアジア近海航路の事業化調査を行い、第2、第3の高速海上輸送航路を開拓する他、高速船の利用分野の拡大を図っていく予定です。

【(株)テクノ・シーウェイズの概要】

商 号： 株式会社テクノ・シーウェイズ

(英文表記： Techno-Seaways Inc.)

資 本 金： 32億8,000万円

所 在 地： 東京都港区浜松町1-12-10 第一登茂ビル 2階

代 表 者： 山内 康勝(代表取締役社長)

事 業 内 容： ・海上輸送システムの開拓事業(市場調査、事業化環境整備等)
・トータルサポートシステム(TSS：TSLの運航や保守管理を支援する総合的な技術支援システム)の開発及び提供
・新形式船舶の保有・貸与 他

出 資 者： 三井造船(株)、日本政策投資銀行、石川島播磨重工業(株)、
日本郵船(株)、川崎重工業(株)、住友重機械工業(株)、
日本鋼管(株)、日立造船(株)、三井物産(株)、三菱重工業(株)、
三菱商事(株)、日本通運(株)、(株)日本海洋科学

[お問い合わせ先]

電話： 03 - 5402 - 6261

{ 参考 }

小笠原T S Lの概要

要 目	小笠原 T S L	おがさわら丸 (現就航船)
全 長	約 1 4 0 ㍍	1 3 1 ㍍
全 幅	約 3 0 ㍍	1 7 ㍍
総 ト ン 数	約 1 4 , 5 0 0 トン	6 , 6 7 9 トン
速 力	時速約 7 0 ㏎	時速約 4 0 ㏎
材 質	アルミ軽合金	鋼
推 進 機 関	ガスタービン (ウォータージェット)	ディーゼル (プロペラ)
旅 客 数	7 2 5 名	1 , 0 3 1 名
航 海 時 間	約 1 6 時間	約 2 6 時間
年 間 便 数	9 2 往復	5 9 往復

完 成 予 想 図

